

14. 薩摩焼透彫香炉



薩摩焼透彫香炉 十三代 沈壽官

1点
陶磁
径26.0 高19.5
大正6年(1917)

大正4年に行われた大礼のための奉祝献上品。白薩摩と呼ばれる白い陶器に、大礼を祝うにふさわしい金彩と色絵による華やかな文様に加えて、精緻な浮彫や二重透彫など、先代の名工・十二代沈壽官より受け継いだ高度な彫刻技術が示されている。

Satsuma ware, openworked incense burner
By Chin Jukan XIII

ceramic
D.26.0 H.19.5
1917

A gift celebrating the Ceremony of Enthronement of Emperor Taisho in 1915. White ceramic called Shiro-satsuma is decorated with brilliant patterns in gold and colored overglazes, along with double layered openwork, using the high quality carving techniques succeeded from the last Chin Jukan 12th.

繊細な修理

本作は白薩摩と呼ばれる、白い胎土に細かなヒビが入る透明釉がかけられた陶器による香炉である。三足に勾玉形の耳のある香炉本体には、肩から胴にかけて周囲にドレープのある裂形の透彫がほどこされている。この透彫は、素地を厚さ2ミリほど残して垂直に彫り下げて図様を表したもので、雷文と紗綾形の地文様に銅鏡や勾玉、管玉など、古代風の図様が彫刻されている。一方、火舎は外側と内側に二段に重ねて、外側を籠目形に、内側を亀甲繫形に透彫をほどこしてあり、外側には四方に菊花文と桐紋を同じく透彫で配している。白薩摩は材質的に脆いため、これだけの緻密な彫刻を破綻なく焼き上げるのは至難のわざであり、本作の見所でもある。それ以外にも、金彩と色絵を効果的に用いて、大礼の献上品として格調の高さを醸し出している。十三代沈壽官は、幕末から明治前期に万国博覧会などでも高い評価を受け、沈家中興の祖といわれる十二代沈壽官(1835～1906)の影に隠れた存在であったが、本作にみられる高い技術は先代に劣らず優れた陶工であったことを示している。高台風に削り出された底面には、「薩摩 苗代川／沈壽官／謹製」の金彩銘が入る。また、本作を収める木箱の蓋裏には、「大禮奉祝献品／鹿児

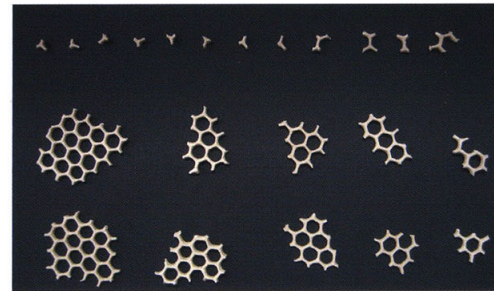
島縣日置郡下伊集院村／沈正彦献上／大正六年十月五日」と墨書がある。沈正彦は十三代沈壽官の本名である。

十三代沈壽官は、明治22年(1889)に十二代沈壽官の長男として生まれた。同39年に十二代が死去したことにより十三代沈壽官を襲名し、以後、歴代が沈壽官を襲名することとなった。大正から昭和にかけて、薩摩焼の陶磁器製造業および鹿児島県の経済発展に貢献し、昭和39年(1964)に逝去した。

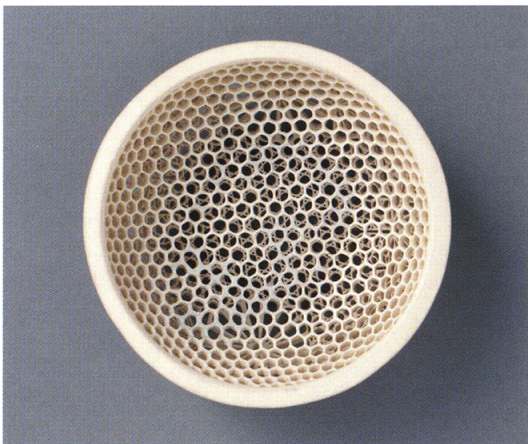
本作の修理箇所は二重の透彫からなる火舎の内側の透彫である。この透彫は、本作の中でも最も脆弱な部分であるが、修理前は火舎の中心部に5cm×7.5cmほどの欠損があった。破損部分の破片は残存していたが、大小様々に割れた状態であった。修理は次の手順で行われた。① 接合箇所の明らかな大きな断片を再使用し、欠損部分に接合する。② 残りの不足部分に合成樹脂を充填し、周囲と同様に亀甲繫形に当たりを付けて切り抜く。③ 補修部分を明らかにするため、オリジナルの白薩摩とわずかに色調を変えて補彩をほどこす。破損部分自体が脆い上、二重構造の透彫になっているため、合成樹脂の充填、切り抜きは、細心の注意を払わなければならず、非常に困難な作業であった。



修理前の損傷



破損した断片



破損部分の修理後



修理後の蓋上部からの様子

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

開館20周年記念
美を伝えゆく 一名品にみる20年の歩み

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成25年10月12日発行

© 2013, The Museum of the Imperial Collections, Japan

The 20th Anniversary Exhibition of the Sannomaru Shozokan
Passing Art works to the Future –The Museum's 20 Years of Research on Masterpieces–

Edited by the Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan

Produced by Tokyo Bijutsu Inc.

Translated by Hiroko Kurokawa

Published by Imperial Household Agency

Issued on October 12, 2013

© 2013, The Museum of the Imperial Collections, Japan